

## 論文審査結果の要旨

氏名：大澤 文護

学位の種類：博士（危機管理学）

学位論文名：金正恩体制形成と国際危機管理への影響、及び日本の対処方策  
－労働新聞の動静報道、脱北者インタビュー分析を基にした考察－

審査委員（主査）：坂本 尚史

（副査）：三村 邦裕

（副査）：安藤 生大

（副査）：康 仁徳

本論文は、北朝鮮における金正日体制から金正恩体制へ「権力継承」によって最高指導者の統治スタイルや国家指導目的にどのような変化があったかのかを、金正日体制末期の2009年から金正恩体制が成立する2014年までの6年分の朝鮮労働党機関誌「労働新聞」の分析及び脱北者インタビューに基づいて、検証したものである。その結果、金正恩の国家指導方針が「軍中心」から「党中央」へと回帰していることを明らかにした。

また、今後わが国がどう対処すべきかについて、日本の役割と危機管理のあり方の観点から、制裁中心から対話による「関与政策」への転換を提言している。

従って、本論文は、博士（危機管理学）の授与方針である、「対象事象について総合的に検討を行い政策・施策に関する提言を行う」の趣旨に合致した優れたものと認められ、博士の学位を授与するに値するものと考えられる。